



## 北欧に暮らす動物

2010-6-8

大倉 千奈



- ・北欧に暮らす主な動物  
～トナカイ・羊
- ・コルケアサーリ動物園
- ・動物園、水族館について...

北欧ではフィンランドやスウェーデンの山道に多くトナカイをみることができます。トナカイは基本的に放し飼いなので、道路を横断する際に車にひかれていることが多いのだそうです。現地の人々はトナカイを飼っているのではなくトナカイと共に「生きている」のです。

**「共存」**

羊はオーストラリアやニュージーランドやアイルランド程ではないですがアイルランドで多く見ることができます。羊は基本的に動きも性格もゆったりしているので道をふさいで座るときなどは車が何分もの間動けなかつたりもします。その羊に長い間付き合っていていやしている姿を見るとそんな、ゆったりした時間もアイルランドの魅力だと感じました。

←コルケアサーリ動物園  
「海に浮かぶ動物園と呼ばれています」  
観光客は港からフェリーでいきます。  
動物150種類、植物1000種類

この動物園では生態系を再現した展示をしているので観客にとっては動物の姿をみることができないときもあって不満はあるのですが、「ありのままの自然を見たい」という要素は忠実に応えているといえます。

水族館は北欧にヘルシンキのタンペレ水族館があります。  
ここではイルカショーがとて有名です。

北欧にある動物園を見ても北海道の札幌の動物園を見てもどこの動物園も役割は大きく四つに分かれていて工夫がたくさん見られます。  
水族館も同じ！

展示

環境教育

種の保全

調査研究